

○災害への備えと防犯対策の推進

国、県と一体となった河川、砂防、治山・治水対策等の自然災害防止事業を推進します。郡家地区の排水対策に引き続き取り組むとともに、町消防団、自主防災組織と連携した防災訓練を実施します。地震対策では、耐震診断、耐震改修に対する補助制度により、住宅の耐震化を促進し、地震後の電気火災を防ぐ感震ブレーカーの普及を進めるための補助制度を創設します。防犯対策では、カメラ付きドアホン、防犯カメラ等の設置に対する補助制度を新たに設け、犯罪や消費者トラブルの防止に取り組みます。

④ 環境共生のまちづくり (自然と環境保全)

○自然環境・景観の保全と活用

自然共生サイト登録地の生物多様性保存や環境教育活動を積極的に支援します。道路愛護、河川愛護などの美化活動を行うボランティア団体の育成に努めるとともに、近隣市町と連携した国道29号沿線の景観向上活動を促進します。また、3R（リデュース・リユース・リサイクル）運動によるごみの減量化やごみアップなどの活用による適正なごみの分別収集を推進します。

○脱炭素社会への移行の推進

住宅及び集落集会所等への太陽光発電設備の設置、薪ストーブ、蓄電池等導入に対する助成による、家庭・地域での再生可能エネルギーの積極的な活用に取り組みます。また、公共施設の照明設備のLED化、再生可能エネルギー由来の電気の導入を促進し、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。



⑤ 産業と人がつながる まちづくり(産業・観光・雇用)

○農林水産業の振興

有機・自然栽培農業の推進を目指す「オーガニックブレッジ」の宣言に向けた推進体制を確立します。農業農村整備事業に取り組み、担い手を中心にスマート農業の導入促進、農作業の効率化、省力化、生産性の向上を目指します。また、家族農業者、定年帰農者、小規模兼業農家など多様な経営形態による地域農業の後継者の確保に努めるとともに、果樹のトレーニンングファームより、果樹の新たな担い手確保・育成に取り組みます。畜産・酪農では、安定した経営が図られるよう、和牛・乳用牛の増頭・増産への取り組みを引き続き支援します。森林・林業関係は、鳥取県植樹祭が八頭町を会場に5月に開催されることから、将来を担う子どもたちをはじめ、町民の方々に森林の持つ多面的機能や林業の現状等を伝え、豊かな森林を次世代に引き継ぐ機運を高めます。

○商工業の振興

「出る杭を伸ばす事業者応援補助金」を活用し、町内における起業や創業などスタートアップ、チャレンジを支援するとともに、八頭町企業

立地促進奨励金を活用した企業誘致を進め、雇用の創出に取り組みます。また、町内での経済循環を促進するため、商工会と連携して八頭町独自のキャッシュレス決済システム（デジタル地域通貨）の導入に取り組みます。

○観光の振興

本年4月から開催される大阪・関西万博を契機とした旅行者の誘致を図るため、八東ふるさと森の野鳥観察、サイクリング、ツーリング、若桜鉄道を活用した観光列車の運行など、個性的で魅力的な体験型の旅を提供します。また、日本遺産関連コンテンツを活用した広域周遊型の観光に、麒麟のまち観光局と連携して取り組みます。



○交流の推進と関係人口の拡大

今年、八頭町と韓国横城郡との友好交流締結から20年を迎えます。日韓子ども交流事業、職員交流事業をはじめとする相互交流を推進します。国内交流については、大阪の住吉区、神戸の長田区との交流を継続すると共に、関西圏・首都圏でのPR、2地域居住推進等による交流人口・関係人口の創出・拡大を図ります。

⑥ こころ豊かな人づくり (教育・文化)

○学校教育の充実

「豊かな心」、「確かな学力」、「健やかな身体」を教育の柱に、少人数学級編成、特別支援員の配置、通級指導等、個々の特性に応じたきめ細かな教育を進め、タブレットの積極的な活用、ICT支援員の配置、外国語指導助手(ALT)の活用等により、情報化、国際化する社会に必要なスキルを身に付けた児童生徒の育成を目指します。また、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置による教育相談体制の充実を図り、コミュニケーション・スキルによる地域とともに育む学校づくりに取り組めます。

○社会教育の充実

公民館を拠点に、ライフステージに応じた魅力的な講座・教室の開設など、様々な学習機会を提供することにより、心豊かな人づくり、仲間づくりを推進します。青少年の地域行事やボランティア活動等の社会参加を促進し、ジュニアリーダーの育成に取り組みるとともに、図書館については、図書館ネットワークシステムを活用しながら、「いつでも・どこでも・だれでも」利用していただける身近な施設となるよう環境の整備を進めます。

○生涯スポーツの推進

町体育協会等による各種スポーツ大会やスポーツ教室の開催、スポーツ推進委員による生涯スポーツの普及・啓発を図ります。本年は「全国高等学校総合体育大会」のホッケー競技が鳥取市と八頭町を会場に開催されます。ホッケーのまち八頭町として、大会運営を支援します。また、第17回を迎える「森下広一杯八頭町マラソン大会」が交流人口・関係人口の拡大につながる魅力ある大会となるよう取り組みます。

○芸術・文化活動の推進

芸術文化の発信拠点施設である



○文化財の保護・保存

長い歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた麒麟獅子舞、傘踊り、手踊り、人形浄瑠璃、祭りなどの伝統芸能が、将来にわたり受け継がれていくよう、保存・承継への取り組みを支援します。また、八頭町の貴重な文化遺産についての体験学習の機会や文化遺産に関する普及啓発活動の充実により、社会全体で文化遺産を守る機運の醸成を図ります。

⑦ 効率的で効果的な 行財政運営

本町は、子育て・医療・福祉等の社会保障関係経費の増加や公共施設の老朽化対策、橋りょう・トンネルなどの社会基盤の長寿命事業などに相当額の財源確保が必要です。歳入においては、税収等の伸びが若干期待できるものの、それを上回る物価の高騰や人件費の増加があることから、「ふるさと納税」、「企業版ふるさと納税」の受入拡大など自主財源の確保の取り組みを強化します。歳出については、引き続き経常経費の削減に努める一方、施策の優先度や緊急度などを勘案し、住民ニーズや時代が要請する行政課題に対応した事業実施に取り組みます。新庁舎の整備につきましても、災害対策の拠点機能をはじめ、新庁舎が備えるべき機能の検討を庁内ワーキンググループにより始めています。7年度も引き続き県と意見交換を行いながら環境面、利便性等の検討を進めます。

